

TAKURA WATCHING

今月も町の話が盛りたくさん！

3



3 鳥天満宮例大祭

2月24日(日)、鳥天満宮で例大祭が盛大に開催されました。神社の境内にある神楽殿において、町の無形民俗文化財に指定されている太々神楽が奉納されました。

続いて神主、総代などによるお練りが行われました。また、書道教室の子どもたちが緊張した面持ちで、席書の披露を行いました。



4

4 元気に大きく

3月7日(木)、児童館にて成長記念製作が行われました。たくさんの親子が参加し、手形・足形を取りました。緑のインクが手と足に塗られ、困惑気味な子どもたちでしたが、きれいにおされた小さな手形には、ママから子へのメッセージと写真が添えられ、すてきな成長の記念が完成しました。

板倉学講座

5



5 豊かな郷土を後世に

3月9日(土)、中央公民館で「板倉学講座」が行われました。講師に青木雅夫氏と齋藤広道氏を招き、町の植生について講演していただきました。青木氏は柳山の野生植物について調査結果を講演しました。柳山にある197種の植物を調査し、その内8.7%が絶滅危惧種に分類されると話しました。



6

6 スペースが板倉に停車

3月16日(土)、東武日光線のダイヤ改正により特急スペースけごん1号が板倉東洋大前駅に停車するようになりました。夢農業塾会員を中心に、約50名のかたが初停車を手旗を振って歓迎しました。スペースは板倉東洋大前駅を午前8時26分に出発し終点の東武日光駅に午前9時18分に到着します。

1



1 巣立ちのとき

3月13日(水)、板倉中学校で卒業式が行われました。厳粛な雰囲気の中執り行われる式の中で、石川和孝校長は「板倉中学校在学中に皆さんが培ったさわやか板中生としての取り組みを大切にしてほしい。これは卒業後、進学しても社会に出てもどんな場面でも基本となることなので、ぜひいつまでも実践してほしい」と卒業生に語りかけました。また、自らの夢や希望を実現するためには、努力が必要であることを式辞として146名の卒業生を送りました。

式の終盤には、卒業生による合唱が行われました。ひな壇に並ぶ姿は皆とても凛々しく、優しく力強い歌声は、心をつにした合唱コンクールをはじめ、体育大会や修学旅行など、中学校3年間の思い出の集大成といえるものでした。

中学校生活最後のホームルームを終えて玄関から出てきた卒業生たちは笑顔で、互いに写真を撮りあうなど、いつまでも校庭に残り、別れを惜しんでいました。



2

2 抑げば尊し

3月22日(金)、例年のないほどの早さでサクラが咲き始める中、町内4つの小学校で卒業式が挙行されました。今年度は東小40名、西小52名、南小25名、北小12名の児童たちがそれぞれの小学校を卒業しました。

南小の阿部主校長は式辞で「誠実に生きること、努力に勝る天才はいないこと、時かない種は生えてこないこと」という3つの言葉をもって卒業生を送りました。